

学習プログラム一覧

1 様々なつながりをつくるプログラム

No.	プログラム名	対象となる親					標準時間(分)	ワークショップの手法	学習のねらい	ページ
		乳児	幼児	小学生(低)	小学生(高)	中学生				
①	みんなでつながろう (親子一緒に)				○	○	60	コミュニケーションワーク	コミュニケーションワークを体験することで、参加者同士の交流を深め、お互いの名前を覚えることで、みんながつながっていくきっかけとする。	20
②	自分再発見!	○	○	○	○	○	60	リフレーミング	活動を通して、自分の性格をふり返り、短所を強みとしてとらえ直すとともに、他人の良さを知り、つながりを深めるきっかけとする。	24
③	あったか言葉が宝物	○	○	○	○	○	50	カードワーク	自分の子どもについて、他者からの言葉かけでどのような気持ちになるかを考え、あたたかな子育て環境を育む言葉かけに気づく。	27
④	先生といっしょに		○	○	○	○	80	ラベルワーク	[年度もしくは学期の始めに]より良いクラスづくりのために「保育所・幼稚園・学校」(担任)と「家庭」(保護者)が協力してできることを考える。	30
⑤	みんなで子育て	○	○	○	○	○	60	ラベルワーク	学校・家庭・地域がつながって、地域のみんで子育てする理想の地域社会について話し合い、今後の子育てで大切にしたいことを考える。	36

2 親の社会的役割について考えるプログラム

①	こんな時、 どうする?		○	○	○	○	50	即答フリップ方式 全員参加型 ディスカッション	子どもたちの具体的な生活場面の問いに対して、自分ならどうするかを考え、大人(親)としての社会的な役割に気づく。	39
②	“オトナ”の役割を 考える		○	○	○	○	60	ランキング	子どもたちの具体的な生活場面を想定して、“わが子の場合”“知っている子の場合”“知らない子の場合”のかかわり方・しかり方を考え、比較することで、大人(親)としての社会的な役割に気づき、自分ができていることを考える。	41
③	〇〇地区の子ども たちに示したい 大人のふるまい		○	○	○	○	60	カードワーク	地域の子どもたちに対しての大人のふるまいを考えることで、大人(親)としての社会的な役割に気づく。	44
④	〇〇地区の子どもは、 こんな子どもに 育てほしい		○	○	○	○	70	ランキング	地域(学校・保育所)のめざす子ども像について語り合うことで、さまざまな価値観にふれ、地域の一人の親としてできることを考える。	48
⑤	幸せって なんだろう	○	○	○	○	○	60	即答フリップ方式 全員参加型 ディスカッション	うれしかったことや日々の暮らしの中で感じる幸せについて意見交換することで、自分にとっての幸せとは何かを考える。	51

3 いじめ予防について考えるプログラム

No.	プログラム名	対象となる親					標準時間(分)	ワークショップの手法	学習のねらい	ページ
		乳児	幼児	小学生(低)	小学生(高)	中学生				
①	われわれ大人にできること	○	○	○	○	○	90	シミュレーションラベルワーク	いじめの問題を解決する上で、大人の役割が重要であることを知る。そして、いじめを予防するために自分自身ができることを考える。	53
②	いじめがおきない環境づくりのために	○	○	○			90	ラベルワークカードワーク	いじめがおきる要因や条件を考え整理したことをもとに、いじめがおきない環境づくりのため、親としてできることを考える。	56
③	SOSを見逃さない	○	○	○	○	○	80	ラベルワーク	子どもが発するSOSのサインにはどんなものがあるかを出し合い、整理して、そのSOSのサインを敏感に感じ取るため、親としてできることを考える。	60
④	ネットいじめから子どもを守る	○	○	○	○	○	60	ラベルワーク	ネットいじめの特徴やリスクを出し合い、ネットいじめの怖さについて理解するとともに、子どもたちを守るためにできることを考える。	63
⑤	もし、いじめがおこったら…	○	○	○	○	○	60	エピソード	わが子のまわりでいじめがおきていることがわかった時、いじめから子どもたちを守るためにできることを考える。	66

4 児童虐待予防について考えるプログラム

①	すてきな子育て	○	○	○	○	○	60	ラベルワーク	日々の子育ての中で、イライラすることやストレスを感じることもあるが、子育てのすてきな思い出を紹介し合う中で、楽しく子育てしていることとする意欲を高める。	70
②	子どもに届けよう、あなたの想い	○	○	○	○	○	75	ロールプレイ	いろいろな要因が複合的に絡み合うことで起きた親のイライラが高まる場面を役割演技し、その後、気持ちが落ち着いた場面で、想いを子どもにどのように伝えるか考え役割演技することで、子どもとのかかわりを考える。	73
③	こんな時、わたしなら…	○	○	○	○	○	70	エピソード	日常の中で親子のイライラが高まってしまったエピソードを聞き、その事例について考え、話し合い、自分を振り返ることで、子どもとのかかわりを考える。	77
④	子どもの笑顔と未来のために	○	○	○	○	○	80	ラベルワーク	児童虐待について専門家から話を聴くことによって、児童虐待とは何か、しつけと虐待と何が違うのか、なぜ起きてしまうのか等正しく学び、意見交換することで考えを深め、児童虐待予防に向け主体的に行動しようとする意欲を高める。	84
⑤	「あたたかい眼差しを」 -虐待から子どもを守る-	○	○	○	○	○	60	ビデオフォーラム	児童虐待についての概略と通告の義務についての理解を深めるとともに、児童虐待予防に主体的にかかわろうとする意欲を高める。	90